

令和 2 年度大阪府公立高等学校入学者選抜の概要

入試の種類と日程

受験の機会は、
原則 1 回です！

「一般入学者選抜」(3月)

- ◆出願期間：令和2年3月 4日(水)、5日(木)、6日(金) (通信制は、3月 1日(日)、3日(火)、4日(水))
- ◆学力検査等：令和2年3月 11日(水) (通信制は、3月 8日(日)、9日(月)、10日(火))
- ◆合格者発表：令和2年3月 19日(木)

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制 (139校)	すべての学科(特別選抜を行う学科を除く。)	5教科(国語・社会・数学・理科・英語*) *リスニングテストを含む。	—
定時制 (19校)	すべての学科(昼夜間単位制を除く。)	3教科(国語・数学・英語*) *リスニングテストを含む。	—
通信制 (1校)	普通科	—	面接(*)

(面接*)：自己申告書と調査書の「活動/行動の記録」を面接の参考資料にします。)

「特別入学者選抜」(2月)

- ◆出願期間：令和2年2月 14日(金)、17日(月) (音楽科は、2月 4日(火)、5日(水))
- ◆学力検査等：令和2年2月 20日(木)、21日(金) (音楽科は、2月 16日(日)、20日(木))
- ◆合格者発表：令和2年3月 2日(月)

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制 (19校)	工業に関する学科(建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科)・グローバル探究科・美術科・体育に関する学科・芸能文化科・演劇科・音楽科・総合造形科	5教科(国語・社会・数学・理科・英語*) *リスニングテストを含む。	実技検査
	総合学科(エンパワメントスクール)		面接(*)
多部制 単位制 (1校)	I部・II部(クリエイティブスクール) 普通科		
昼夜間 単位制 (1校)	普通科・ビジネス科		

(面接*)：自己申告書と調査書の「活動/行動の記録」を面接の参考資料にします。)

※「能勢分校選抜」「帰国生選抜」「日本語指導が必要な生徒選抜」「自立支援選抜」「知的障がい高等支援職業学科選抜」「共生推進教室選抜」は、特別選抜の日程に準じて実施します。

※特別選抜、能勢分校選抜及び一般選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科等は、一般選抜後に「二次選抜」を実施します。

※「秋季選抜」は、令和2年9月に府立勝山・桃谷(I・II部)統合新校(仮称)(多部制単位制I部、II部(クリエイティブスクール))及び府立桃谷高校(定時制の課程)で実施します。この選抜においては学力検査を行わず、小論文と面接により合格者の判定を行います。

※それぞれの選抜で、募集人員を複数の学科等ごとに設定している高校では、他の1学科等を第2志望とすることができます。

(例) ○○高校：第1志望「グローバル科」、第2志望「普通科」

□□高校：第1志望「大学進学専科」、第2志望「総合募集の専科」

△△高校：第1志望「多部制単位制I部」、第2志望「多部制単位制II部」など

入試で使う資料

5 教科です！

(夜間定時制・通信制を除く。)

学力検査

【国語・数学・英語】(高校によって問題の種類が異なります。)

一般選抜：3 種類 (基礎的問題、標準的問題、発展的問題)

特別選抜：2 種類 (基礎的問題、標準的問題)

【社会・理科】

一般選抜、特別選抜：それぞれ 1 種類のみ

一般選抜

検査教科	国語	数学*	英語*		理科	社会	満点
			筆答	リスニング			
時 間	50 分	50 分	40 分	15 分	40 分	40 分	450 点
配 点	90 点	90 点	90 点		90 点	90 点	

*発展的問題は、数学 60 分、英語の筆答 30 分・リスニング 25 分

※夜間定時制は 3 教科 (国、数、英)

特別選抜

検査教科	国語	数学	英語		理科	社会	満点
			筆答	リスニング			
時 間	40 分	40 分	40 分	15 分	40 分	40 分	225 点
配 点	45 点	45 点	45 点		45 点	45 点	

自己申告書

全員提出が必要です！

(日本語指導が必要な生徒選抜を除く。)

- ・受験生は、中学校等での学習や高校生活における抱負など、あらかじめ教育委員会が示すテーマについて記載し、出願時に提出します。
- ・選抜での判定資料や面接の参考資料となります。

(※イメージ)

自己申告書

平成 年 月 日

立 高等学校長 様

下記のとおり、申告します。

本人氏名 _____

記

【テーマ】

あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますが、できるだけ具体的に記述してください。

その他

- ①英語の学力検査において外部検定 (TOEFL iBT、IELTS、実用英語技能検定) のスコア等に応じた点数保障があります。
- ②各学校で調査書の評価を付ける際には、以下の手順で学校の評価基準の確認を行っています。

中学 1 年生 中学 2 年生	各中学校等で評価を決定する際に、各生徒の 1 月のチャレンジテストの結果が、大阪府教育委員会が作成する「評価の範囲」にあるかどうかを確認します。
中学 3 年生	6 月に受けるチャレンジテストの平均点をもとに、各中学校等の「評価平均*の範囲」を決定し、各中学校等の 3 年生全員の全教科の評価の平均が「評価平均の範囲」であるかどうかを確認します。 (評価平均*：3 年生全員の 9 教科の評価を平均した値)

- ③令和 2 年度選抜では、調査書の評価の満点を以下のように求めます。

		調査書の評価の満点	学力検査の満点 (参考)
一般選抜	全日制	450 点 (3 年生(5 段階×9 教科×6 倍)+2 年生(5 段階×9 教科×2 倍)+1 年生(5 段階×9 教科×2 倍))	450 点 (90 点×5 教科)
	定時制	270 点 (3 年生(5 段階×9 教科×3.6 倍)+2 年生(5 段階×9 教科×1.2 倍)+1 年生(5 段階×9 教科×1.2 倍))	270 点 (90 点×3 教科)
	特別選抜	225 点 (3 年生(5 段階×9 教科×3 倍)+2 年生(5 段階×9 教科×1 倍)+1 年生(5 段階×9 教科×1 倍))	225 点 (45 点×5 教科)

- ④総合点は、学力検査の成績と調査書の評価に一定の倍率をかけて求め、可否の判定に用います。倍率には〈表 1〉の 5 つのタイプがあり、高校によって異なります。なお、大阪市立の高校では〈表 2〉を加えた 9 つのタイプがあります。

〈表 1〉

タイプ	学力検査の成績にける倍率	調査書の評価にける倍率	一般選抜【全日制】		一般選抜【定時制】		特別選抜*		(参考) 学力検査の成績と調査書の評価の比率
			学力検査	調査書	学力検査	調査書	学力検査	調査書	
I	1.4 倍	0.6 倍	630 点	270 点	378 点	162 点	315 点	135 点	7 : 3
II	1.2 倍	0.8 倍	540 点	360 点	324 点	216 点	270 点	180 点	6 : 4
III	1.0 倍	1.0 倍	450 点	450 点	270 点	270 点	225 点	225 点	5 : 5
IV	0.8 倍	1.2 倍	360 点	540 点	216 点	324 点	180 点	270 点	4 : 6
V	0.6 倍	1.4 倍	270 点	630 点	162 点	378 点	135 点	315 点	3 : 7

〈表 2〉

タイプ	学力検査の成績にける倍率	調査書の評価にける倍率	(参考) 学力検査の成績と調査書の評価の比率
VI	1.8 倍	0.2 倍	9 : 1
VII	1.6 倍	0.4 倍	8 : 2
VIII	0.4 倍	1.6 倍	2 : 8
IX	0.2 倍	1.8 倍	1 : 9

*実技検査を実施する学科の総合点には、実技検査の成績が加わります。

※各高校の学力検査問題の種類及び学力検査の成績と調査書の評価の比率は 7 月下旬に、出願書類や学力検査の時間割等は 10 月中旬に決定し、大阪府教育委員会のウェブサイトに掲載予定です。<http://www.pref.osaka.jp/kotogakko/tyugakusei/index.html>